ViewFile Media Converter

取扱説明書

ご使用になる前にこの取扱説明書を良くお読みください。お読みになった 後はいつでも見られるところに大切に保管してください。

目次

はじめに	З
ViewFile Media Converter とは	3
特長	З
動作環境	4
対応メディアフォーマット(作成元メディア)	5
作成可能メディアフォーマット	5
オンラインヘルプについて	5
インストール	6
ライセンスコードについて	7
使ってみる	8
初回起動時	8
SD メモリカード/DVD-RAM ディスク作成操作の流れ	9
SD メディア作成操作例	9

手順 1:メディア種別(使用機種)の選択	1C
手順 2:SD ドライブの選択	11
手順3:メディアストックに MO ディスクを追加	12
手順 4:SD メディアの作成	14
メインウィンドウ	16
作成メディア	17
メディアストック	22
メディアバックアップ	
メニュー	
設定	4C
オプション	40
高度な設定	41
ログファイル設定	11

Microsoft Windows は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。 EICP-S、EICP-D はオリンパスメディカルシステムズ株式会社の登録商標です。 その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

ViewFile Media Converter とは

ViewFile Media Converter は TEAC MV シリーズ等で記録した 1 枚以上の MO ディス クや DVD-RAM ディスクから、TEAC MV-10XS/10XH/10XD で使用可能な SD メモ リカードや TEAC MV-S10/H10/D10/OLYMPUS EICP-D で使用可能な DVD-RAM ディスクを作成するソフトウェアです。

特長

くなります。

- MV 旧モデル(MO ドライブ搭載モデル)ご使用のお客様が DVD-RAM モデル/SD メモリカードモデルにアップグレードする際のメディア変換ツールとしてご使用頂け ます。
- 230MBのMOディスクであれば約15枚、640MBのMOディスクであれば約6 枚のメディアを1枚のDVD-RAMディスクにまとめることができます。SDメモリ カードの場合は1GB、2GB、4GB、8GBのメディアに対応しています。
- □ 従来のSD (NTSC) 画像をTEAC MV-10XH/10XD/TEAC MV-H10/D10/
 OLYMPUS EICP-D (A-Set) の HD (高解像度) 画像に変換することができます (画質は向上しません)。
 以前に記録した SD (NTSC) 画像を表示するために別途モニタを用意する必要がな
- □ 異なるフォーマットの元ディスクを混在させて SD メモリカード/DVD-RAM ディ スクを作成することができます。
- 作成する SD メモリカード/DVD-RAM ディスクのバックアップをハードディスク に作成します。バックアップメディアから再度同じ SD メモリカード/DVD-RAM ディスクを作成できます。

動作環境

オペレーティングシステム	Microsoft 2000/XP/Vista/7(32 ビット/日本語版)		
	Windows 95/98/Me/NT 4.0 では動作しません。		
CPU	Intel Pentium Ⅲ1GHz 以上(Pentium4 3GHz 以上を推奨)		
メモリ	512MB 以上(1GB 以上を推奨)		
ハードディスク	ViewFile Media Converter プログラム領域として 10MB 以上		
ディスプレイ	1024×768以上		
CD-ROM	インストール用として4倍速以上のCD-	ROM ドライブ	
	CD-ROM 版以外の ViewFile Media Co	nverter をインストールする場合は不要	
MO ドライブ	作成元 MO ディスクを読み込む場合に必要	要です。	
SD カードリーダ/ライタ	SD メディアを作成する場合に必要です。		
DVD-RAM ドライブ	DVD-RAM メディアを作成する場合には UDF 1.5 フォーマットの書込みが可能な DVD-RAM ドラ		
	イブが必要です(5 倍速以上を推奨)。		
	動作確認済み DVD-RAM ドライブ		
	・株式会社アイ・オー・データ機器	DVR-UM16CR	
		DVR-UEM16CR	
	DVD-RAM ドライブに付属する DVD	-RAM ドライバソフトウェアをインストールしてください。	
	・株式会社アイ・オー・データ機器	DVR-UM16CV	
		DVR-UN20E	
		DVR-UN20GL	
	DVD-RAM ドライブに付属する B's	CLiP 7 以降をインストールしてください。	
での他のソフトウェア TEAC D\/-700 で記録した D\/D-RAM ディフクを作成示メディアとして使用する提合			
その他のソフトウェア	TEAC DV-700 で記録した DVD-RAM	1 ディスクを作成元メディアとして使用する場合は以下のソフ	
その他のソフトウェア	TEAC DV-700 で記録した DVD-RAW トウェアが必要です。	1 ディスクを作成元メディアとして使用する場合は以下のソフ	

- ・Microsoft DirectX 7.0 以降
- \cdot Ulead Video Studio

対応メディアフォーマット(作成元メディア)

MO ディスク

- TEAC MV-200/250/50M/55M/60M/65/70/71 (MV-200/250 の TIFF 画像には対応していません。)
- TEAC MV-150/180/180F
- OLYMPUS EICP-S
- その他

DVD-RAM ディスク

- TEAC MV-S10/H10/D10
- OLYMPUS EICP-D
- TEAC DV-700

DV-700 で記録した DVD-RAM ディスクを作成元メディアとして使用する為には、Ulead Video Studio がコンピュータにインストール されている必要があります。

動画ファイルは静止画に変換されます。動画内の静止画抽出位置は ViewFile Media Converter で設定できます。

SD メモリカード

■ TEAC MV-10XS/10XH/10XD

作成可能メディアフォーマット

DVD-RAM ディスク

- TEAC MV-S10/H10/D10
- OLYMPUS EICP-D

SD メモリカード

■ TEAC MV-10XS/10XH/10XD

オンラインヘルプについて

本バージョンではオンラインヘルプはインストールされません。

インストール

ViewFile Media Converter は GT Finder と共にインストールされます。 以下は GT Finder のインストール手順です。

GT Finder/ViewFile Media Converter の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブ に入れると自動的にセットアッププログラムが起 動し、インストールを開始します。



セットアッププログラムが起動しない場合は「マイコンピュー タ」→「GT Finder/ViewFile Media Converter の CD-ROM が入っている CD-ROM ドライブ」を開き、setup.exe をダ ブルクリックしてください。

インストール中に設定が必要な項目はありません が、インストールを続行するには使用許諾契約に 同意する必要があります。 同意頂けない場合はインストールを続行すること はできません。

以上で GT Finder/ViewFile Media Converter のインストールは終了です。

DVD-RAM ドライブの取扱説明書をご覧下さい。



🛃 DVFinder GT (Including ViewFile Media Co



DVD-RAM メディアを作成するにはコンピュータに DVD-RAM ドライバソフトウェア、 または B's CLiP 7 以降をインストールする必要があります。

DVD-RAM ドライバ/B's CLiP 7 以降のインストール方法についてはお使いの

DV-700 で記録したメディアを作成元メディアにする場合は、 Ulead Video Studio のインストールも必要です。

ライセンスコードについて

ViewFile Media Converter 初回起動時に、ライセンスコードを入力するウィンドウを表示します。

既に GT Finder でライセンスコードを入力済みであれば、このダイアログは表示されません。

ライセンスコー	-ドの入力	
	ViewFile Media Converter のライセンスコードを ※ ライセンスコードは GT Finder と共通です。	入力してください。
ライセンスコードは GT Finder 製品パッケージ内のライセンス証書に記載されています。		
※ 評価用ライ	イセンスコードは使用できません。	OK キャンセル

GT Finder/ViewFile Media Converter パッケージに同梱のライセンス証書に記載されて いるライセンスコードを正確に入力して「OK」ボタンをクリックして下さい。

有効なライセンスコードを入力すると、次回以降の起動時はこのウィンドウを表示しません。

GT Finder と異なり、ViewFile Media Converter には評価用ライセンスコードはありません。

ViewFile Media Converter を使用するには正規ライセンスコードの入力が必要です。

ライセンスコードは GT Finder と ViewFile Media Converterで共通です。

GT Finder/ViewFile Media Converter をインストールする コンピュータ 1 台につきライセンスコードが 1 つ必要です。

使ってみる

この章では、ViewFlle Media Converter を起動してから SD/DVD-RAM メディアを作成するために必要な一通りの操作を簡単に説明します。

初回起動時

ViewFile Media Converter の初回起動時にいくつかの設定項目を入力します。

使用機種(作成メディア種別)の選択



先頭に [HD] と表示されている機種は、HD 映像(ハイビジョン/高精細)対応機である ことを示します。 [SD] と表示されている機種は SD 映像(標準ビデオ信号/NTSC)専 用機であることを示します。

TEAC MV-10XH/10XD、MV-H10/D10を選択した場合は、必ず「HD 種別」にて接続する診断装置を選択してください。

SD/DVD-RAMドライブの選択



SD/DVD-RAM メディアを作成する為に使 用する SD ドライブ、または DVD-RAM ド ライブを選択します。 SD/DVD-RAM ドライブはいつでも変更できます。

SD メモリカード/DVD-RAM ディスクを作成せずに、ハー ドディスク (メディアバックアップ) にメディアを作成する場 合は指定する必要はありません。

SD メモリカード/DVD-RAM ディスク作成操作の流れ

MO ディスク複数枚から SD/DVD-RAM メディアを作成する操作の概略は以下の通りです。

① 作成する DVD-RAM メディアの元となる MO ディスクや DVD-RAM ディス ク全てをメディアストックに追加します。 1 ② 作成する SD/DVD-RAM メディアの使用機種で再生できるように画像の解像 度を変換します。 初期設定では、メディアストックへの追加が終了すると、自動的にこの処理が 行われます。 Ļ

③ SD/DVD-RAM メディアを作成します。

SD メディア作成操作例

例として、複数 MO ディスクから SD メディアを作成する操作手順を解説します。

SD メディアを作成せずに、(将来 SD メディアを作成する為の)パックアップメディアのみをハードディスクに作成することもできます。

作成元ディスク(例)

MV-55M で記録した MO ディスク(230MB)	15 枚
MV-180 で記録した MO ディスク(640MB)	5枚

上記の MO ディスクから、MV-10XS で使用可能な SD メディアを作成します。

手順 1:メディア種別(使用機種)の選択

MV-10XS 用の SD メディアを作成する為、メディア種別を MV-S10 に変更します。 メディア種別を変更するには、ツールバーの「作成メディア」ボタンをクリックします。 ViewFile Media Converter 初回起動時には自動的に「作成 メディア種別/仕様機種」ウィンドウが表示されます。 このときに使用機種を選択済みであれば、本操作は不要です。

🟭 作成メディア 🔹 🌇 メディアストック 👻 🎆 メディアバックアップ 🔻 🌋 「作成メディア」ボタン



TEAC MV-10XS を選択します。 作成するSDメモリカードの容量も選択して ください。

作成メディア種別を MV-10XS に変更すると、メインウィンドウの作成メディアペインの 表示が更新されます。

メインウィンドウ上部の領域を「作成メディアペイン」と呼び ます。



作成メディア種別の右側には、そのメディアで記録可能な画像 解像度(横ピクセル数×縦ピクセル数)を表示します。 赤色(上段)はHD(高解像度)、青色(下段)はSD(NTSC) で記録可能な画像解像度を示します。 記録できない(非対応の)解像度は灰色で表示します。

手順 2:SDドライブの選択

ツールバーの「作成メディア」ボタン右側の▼をクリックして「メディア作成場所」を選 択することにより、MV-10XS用のSDメディアを作成するSDドライブを選択します。 ViewFile Media Converter 初回起動時には自動的に「SD/ DVD-RAM メディア作成場所の指定」ウィンドウが表示され ます。 このときにドライブを指定済みであれば、本操作は不要です。

· - * ×ディアストッ 1 作成メディア 作成メディア種別/使用機種(<u>D</u>)... 「作成場所」ボタン右側の▼ 50 作成メディア詳細(<u>R</u>)… SD/DVD-RAM ドライブチェック(<u>C</u>) GT Finderで開く(<u>G</u>) SD/DVD-RAMメディア作成場所の指定 SD ドライブを選択して「OK」ボタンをク SD ドライブはコンピュータによって異なります。 一覧より SD/SDHC ドライブまたは DVD-RAM ドライブを 選択してください。 エクスプローラ等で SD ドライブを確認の上選択してくださ リックします。 い。 ⇒リムーバブル ディスク(H) · ※ ハードディスクやネットワークドライブは表示されません。 この例では、 "H" ドライブが SD ドライブ SD/DVD-RAM ドライブを指定しないと SD/DVD-RAMメディアを 作成することはできませんが、バックアップメディアを作成することはでき ます。 です。 後でバックアップメディアから SD/DVD-RAM メディアを作成すること ができます。 OK キャンセル

メディア作成場所を指定すると、メインウィンドウの作成メディアペインの表示が更新さ れます。



指定したドライブに MV-10XS でフォーマットした SD メモリカードがあり、且つメディ アを作成可能であれば「準備完了」と表示します。 SD メモリカードは MV-10XS/10XH/10XD でフォーマッ トされている必要があります。

手順 3:メディアストックに MO ディスクを追加

20 枚の MO ディスク (MV-55M で記録した 15 枚の MO ディスクと MV-180 で記録 した 5 枚の MO ディスク)をメディアストックに追加します。この例では"E"ドライブ が MO ドライブです。

以下のように、MO をメディアストックに追加する 2 通りの方法があります。どちらの方 法でも同じ結果になります。 任意の順番でメディアストックに MO ディスクを追加することができます。 MO ディスクに記録されている検査日等を考慮する必要はあ りません。

a.「作成メディア取込み」ボタンをクリックしてMOディスクがあるドライブを指定する。



b. MO ドライブをドラッグしてメディアストックにドロップする。



ViewFile Media Converter が認識したメディアを表示します。「OK」ボタンをクリック すると MO ディスクに記録されている全検査をメディアストックにコピーします。

メディアストックに追加				
	検出したメディア一覧: ※ 行をダブルクリックするとディスクラベル/コメントを追加できます。			
	場所	メディア種別	コメント(編集可)	
	V D#	MV-60M,MV-150/180/180F,EJCP-S		
▼メディアの追加後、自動的に解像度変換開始 ▼解像度変換後、変換前のメディアを残さない				
OK キャンセル				

MO ディスクからメディアストックへのコピーを開始します。

<mark>メディアス</mark> 】 「 」 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	>>クに参加 メディアストックに参加しています 455/3939 充 7 (■■■■■■	メディアストックにコピー中
メディアス】 場所 ■ D¥	ペクに法加 完了 びた巻 月53万 開にる	メディアストックへの追加完了

MO ディスクに記録されている全てのファイルをメディアストック(ハードディスク)に コピーする為、MO ディスク使用容量によって所要時間が変わります。 MO ディスクの追加が終了したら、その MO ディスクを取り出して別の MO ディスクを追 加します。

この操作を MO ディスクの数 (20 枚) 分繰り返し、全ての MO ディスクをメディアストックに追加します。

メディアストックに1枚のMOディスクの追加が終了すると、記録されている全ての画像の解像度(横ピクセル数×縦ピクセル数)を、自動的にMV-10XSが対応する解像度に変換します。

初期設定では、解像度変換は自動的に行われます。そのため、 特に操作をする必要はありません。 複数メディアの解像度変換が同時に実行されることはありま せん。



解像度変換が完了した時点で、どの機種で使用できるかが決定 します。

手順 4:SD メディアの作成

全ての MO ディスクをメディアストックに追加すると、SD メディアを作成することがで きます。

SD メディアを作成するには、「ストックメディアからメディア作成」ボタンをクリックします。

解像度変換中のメディアがあると「ストックからメディア作 成」ボタンは無効になります。 解像度変換が終了するまでお待ち下さい。





「ストックメディアからメディア作成」ボタン

内容 内	SD メディアを作成する為に使用可能なス トックメディアが自動的に選択されます。 先頭検査開始日時が古い順にストックメディ アを選択します。	ー度 SD/DVD-RAM メディアを作成する為に使用したス トックメディアは [作成済み] とマークされ、以後 SD/ DVD-RAM メディアの作成候補から除外されます。
作成メディア情報 SD MV-10XS SD 2GB ♥ 作成対象ストックメディア教: 7 合計 18 MB (17 検査/169 ファイル) バックアップメディアとSD/DVD-FAMメディアの作成を開始できます。	自動的に検査数と合計ファイルサイズを計算 して、できるだけ多くのストックメディアを 選択します。	作成するメディアの容量に関わらず、最大検査数は 9,999 で す。10,000 検査以上のメディアを作成することはできませ ん。

「OK」ボタンをクリックすると、バックアップメディアとSDメディアの作成を開始します。

バックアップメディアを作成せずに SD メディアを作成する ことはできません。 バックアップメディア→SD メディアの順にメディアを作成します。

バックアップメディア/SDメディアの作成中、特に必要な操作はありません。



完成した SD メモリカードを取り出します。

まだ未作成のストックメディアがある場合は、新たな(初期化済みの)SD メモリカードを 挿入し、「ストックメディアからメディア作成」ボタンをクリックして、未作成のストッ クメディアから SD メディアを作成します。

ウィルススキャンソフトウェアが稼働中であると、その設定に バックアップメディア/SD メディアの作成に要する時間はお使いのコンピュータによっ よっては数倍の時間を要することがあります。 て異なります。

より高性能な CPU、ハードディスクを搭載するコンピュータの方が高速に作成することが できます。

DVD-RAM メディアを作成する場合は、DVD-RAM ドライ ブの書込み可能速度、DVD-RAM ディスクが対応する書込み 速度によっても作成所要時間は変わります。

メインウィンドウ

ViewFile Media Converter を起動したときに表示されるウィンドウがメインウィンドウ

です。

メインウィンドウは、大きく3つの領域(ペイン)に分かれています。



「メディア」メニューの「作成メディア」に対応し ます。 「メディアストック」ボタン 「メディア」メニューの「メディアストック」に対 応します。 「メディアバックアップ」ボタン 「メディア」メニューの「メディアバックアップ」 に対応します。

作成メディアペイン(上部)

作成する SD/DVD-RAM メディアについての情報を表示します。

- メディアストックペイン(左下部) メディアストックに追加した作成元メディアを表示します。 SD/DVD-RAM メディアを作成する為には、メディアストックに作成元メディア (MOディスク等)を追加する必要があります。
- メディアバックアップペイン(右下部) 作成した SD/DVD-RAM メディアのバックアップメディアを表示します。 ViewFile Media Converter は、SD/DVD-RAM メディアを作成する直前に必ず バックアップメディアを作成します。

メディアストックはハードディスクに作成されます。

メディアバックアップはハードディスクに作成されます。

作成メディア

● 作成メディアペイン

作成メディアペインには、作成する SD/DVD-RAM メディアに関する情報や状態を表示します。





◇ 作成メディア種別(使用機種)

作成する SD/DVD-RAM メディアを使用する機種を表示します。

◇ SD/DVD-RAM ドライブ

メディアを作成する SD/DVD-RAM ドライブを表示します。

◇ 記録可能解像度

作成メディア種別ごとに記録可能な画像解像度が決まっています。 現在の作成メディア種別(使用機種)で記録可能な解像度を表示します。 記録可能な解像度は、HD(高解像度)の場合は赤、SD(NTSC)の場合は青で、記 録できない解像度は灰色で表示します。

◇ SD/DVD-RAM ドライブの状態

指定したSD/DVD-RAMドライブに使用機種でフォーマット済みのSDメモリカー ド/DVD-RAMディスクがある場合は [準備完了] と表示し、メディアの作成が可能 であることを示します。 SD/DVD-RAM ディスクが挿入されていない場合や、SD メモリカード/

DVD-RAMディスクが書込み禁止の場合等、メディアの作成ができない場合はその旨 メッセージを表示します。 作成メディア種別(使用機種)の選択を誤ると、診断装置のモニタに再生画像を表示できないことがあります。

TEAC MV-10XS, MV-S10, OLYMPUS EICP-D (B-Set)

では HD(高解像度)画像を記録/再生することはできません。

[DVD-RAM] 書込み可能なディスクであるにも関わらず [メディアは書 込禁止です。] と表示される場合、DVD-RAM ドライブ が UDF 1.5 フォーマットでの書込みに対応していない可 能性があります。

作成メディア種別を変更するには「メディア」メニュー→「作成メディア」→「作成メ ディア種別/使用機種」を選択します。

ツールバーの「作成メディア」ボタンでも同様の操作が可能で す。
🟭 作成メディア 🔹 🎝 メディアストック マ 🌍 メディアバックアップ マ 🤮 設定
「作成メディア種別」ボタン

作成メディア種別/使用機種				
作成する SD/DVD-RAM メディアを使用する機種を選択してください。 HD 映像を記録する場合は必ず通切な HD 種別に選択してください。			, 10 10	
_	使用機種:	[SD] TEAC MV-10XS	~	
	メディア容量:	SD 2GB	~	
	HD 種別:	PC (VESA)	~	
説明 TEAO MV-10XS 用の SD メディアを作成します。 SD 映像のみ記録/再生を行う場合は、MV-10XH/XD でも使用できます。 再生可能機種				
TEAG MV-10X5 TEAG MV-10XH (SD) TEAG MV-10XD (SD)				
OK キャンセル				

ViewFile Media Converter が作成できる SD メモリカード/DVD-RAM ディスクは以下

の6種類です。

- ♦ TEAC MV-10XH/10XD
- ♦ TEAC MV-10XS SD (NTSC) 画像のみ
- HD(高解像度)画像のみ
- SD (NTSC) 画像のみ
- HD (ハイビジョン) のみ
- ♦ OLYMPUS EICP-D (B-Set) SD (NTSC) 画像のみ

メディア種別を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

- ※ TEAC MV-10XH/10XD または TEAC MV-H10/D10 を選択した場合は、必ず 「HD 種別」にて接続する診断装置を選択してください。
- ※ TEAC MV-10XS または TEAC MV-10XH/10XD を選択した場合は、作成する SD メモリカードの容量を選択してください。

SD メモリカードの容量は、1GB/2GB/4GB/8GB のいずれ かを選択します。 2GB を超える容量の SD メモリカードを SDHC と表記して います。

注意事項

メディア種別の選択を誤ったまま SD/DVD-RAM メディアを作成すると、診断装置の モニタに再生できない/画像表示位置がずれることがあります。

TEAC MV-10XH/10XD , TEAC MV-H10/D10 , OLYMPUS EICP-D (A-Set) は HD (高解像度) 画像の記 録/再生が可能ですが、SD (NTSC) 画像の記録/再生も可 能です。

SD(NTSC)画像を記録したメディアを作成する場合は、こ れらの機種を使用する場合であっても、それぞれ TEAC MV-10XS, TEAC MV-S10, OLYMPUS EICP-D (B-Set) を選択してください。

※ HD (高解像度) 画像と SD (NTSC) 画像が混在する SD /DVD-RAM メディアを作成することはできません。

HD(高解像度)画像のみ

- ♦ TEAC MV-H10/D10
- ♦ TEAC MV-S10
- ♦ OLYMPUS EICP-D (A-Set)

● SD/DVD-RAM ドライブの指定

SD/DVD-RAM ドライブを指定するには「メディア」メニュー→「作成メディア」→ 「メディア作成場所」を選択します。



SD/DVD-RAM ドライブが割り当てられて いるドライブ名はコンピュータによって異な ります。エクスプローラ(マイコンピュータ) 等で確認してください。 左図では H ドライブを指定しています。 ツールバーの「作成メディア」ボタン右側の▼ボタンによるメ ニュー選択でも同様の操作が可能です。



SD/DVD-RAMドライブを指定しないとSDメモリカード/DVD-RAMメディアを作成 することはできませんが、バックアップメディアを(ハードディスク内メディアバックアッ プに)作成することはできます。 バックアップメディアを作成しておけば、後でいつでも SD/ DVD-RAM メディアを作成することが可能です。

● 作成メディア詳細設定

作成する SD/DVD-RAM メディアの詳細な設定を行うには「メディア」メニュー→「作 成メディア」→「作成メディア詳細設定」を選択します。



動画ファイル内静止画抽出位置

通常、設定を変更する必要はありません。誤って変更してしまった場合は「初期設定に 戻す」ボタンをクリックすると初期設定に戻すことができます。 ツールパーの「作成メディア」ボタン右側の▼ボタンによるメ ニュー選択でも同様の操作が可能です。



作成メディア詳細設定の設定項目は、ストックメディアの画像 解像度を変換する際に、元の画像を拡大/縮小するサイズを決 定する為に使用されます。 解像度変換後のストックメディアやバックアップメディアに は影響を与えません。

- ※ 詳細設定を必要とするのは、以下のような場合です。
 - ① 作成メディアに記録する画像のサイズ(解像度)を固定する。
 - ② 動画から静止画を抽出する位置を指定する。
 - ③転送マークを記録/解除する。
- ◇ HD 種別

MV-10XH/10XD または MV-H10/D10 選択時のみ有効です。接続する診断装 置を選択してください。選択した診断装置のモニタで表示可能な HD 解像度のみが 有効になります。

◇ HD 解像度

作成する HD 画像の解像度候補を選択します。初期状態では、現在選択しているメ ディア種別/HD 種別で記録できる全ての解像度がチェックされています。 チェックを外すと、その解像度の画像を記録しないようになります。ストックメディ アの解像度変換時にも、その解像度の画像を作成しません。

◇ SD 解像度

作成する SD 画像の解像度候補を選択します。初期状態では、現在選択しているメ ディア種別で記録できる全ての解像度がチェックされています。 チェックを外すと、その解像度の画像を記録しないようになります。ストックメディ アの解像度変換時にも、その解像度の画像を作成しません。 使用機種として MV-10XH/10XD、MV-H10/D10、 EICP-D (A-Set)を選択している場合に有効となります。

使用機種として MV-10XS、MV-S10、EICP-D (B-Set) を選択している場合に有効となります。

◇ 動画→静止画抽出位置

作成元メディアに記録されているファイルが動画ファイルである場合に、動画内の 静止画抽出位置を指定します。抽出位置の指定方法は以下の3通りです。

作成メディアに動画ファイルを記録することはできません。

- ・ 先頭からの秒数指定
- 終端からの秒数指定
- ・ 動画全体の再生時間内での相対位置(%)
- ◇ 転送マーク

転送マークの取り扱いを指定します。

・ 継承 作成元メディアの転送マークを継承します。

転送済み 作成元メディアに記録されている転送マークに関わらず、全ての ファイルを転送済みにします。

 ・ 未転送 作成元メディアに記録されている転送マークに関わらず、全ての ファイルを未転送にします。 ※ 転送マークとは ファイル転送ソフトウェア "ViewFile Lite" でオンライン 転送、またはオフライン転送すると、転送済みのファイル や検査が "転送済み" とマークされます。 ViewFile Lite は TEAC MV-10XS/10XH/10XD、 TEAC MV-S10/H10·D10、TEAC DV-700 に付属す るソフトウェアです。 「メディア」メニュー→「作成メディア」→「SD/DVD-RAM ドライブチェック」を 選択すると、SD/DVD-RAM ドライブに初期化済みの SD メモリカード/DVD-RAM ディスクがあるか、書込み可能であるかを確認します。メディアを作成できる状態であ れば"準備完了"と表示します。

SD メモリカード/DVD-RAM ディスクは、使用機種でフォーマット済みでなくてはなりません。

※ DVD-RAM メディアを作成する場合の注意事項
 Windows 2000/XP で DVD-RAM メディアを作成する場合、コンピュータに
 UDF 1.5 フォーマット対応の DVD-RAM ドライバまたは B's CLiP 7 以降がインストールされている必要があります。

「ドライブチェック」ボタンでも同様の操作が可能です。

😝 作成元メディア取込み 🛛 👸 ドライブチェック	🕌 ストックメディアからメディアを作成	🐻 パックアップメディアからメディアを作成
•		
I		
「ドライブチェック	ボタン	

既に検査画像が記録されている SD/DVD-RAM メディアに 対して、ViewFile Media Converter で画像を追加すること はできません。 フォーマット後未記録の SD メモリカード/DVD-RAM ディ スクを用意してください。

メディアストック

● メディアストックペイン

メディアストックは、SD/DVD-RAM メディアの作成元となる MO ディスク等を取り

込んで保存するハードディスク内の領域です。



● ストックメディア

各ストックメディアにコメント/ディスクラベルを設定することができます。 作成元メディアが多数ある場合、コメント/ディスクラベルを設定することで識別が容易になります。 MO ディスクや DVD-RAM ディスクのディスクラベル(ボリュームラベル)とは関係ありません。 設定しない場合はメディアストックへの追加日時がコメント/ディスクラベルになります。



● 作成元メディア追加

メディアストックに作成元 MO/DVD-RAM ディスクを追加するには、「メディア」メ ニュー→「メディアストック」→「作成元メディア取込み」を選択します。

メディアス	トックに追加
•	作成元メディアの場所:
作成元の 作成元の 合は、その	メディア(MO/DVD-RAM)を挿入したドライブを指定してください。 メディア(MO/DVD-RAM)が既にハードディスクにコピーされている場 Iフォルダを指定してください。
	OK キャンセル

「作成元メディア取込み」ボタンでも同様の操作が可能です。

🜐 作成元メディア取込み	לפודלגאלא 🔯	🕌 ストックメディアからメディアを作成	👹 パッリアップメティアからメティアを作成
			

・ 「作成元メディア取込み」ボタン

メディアストックに作成元メディアを(エクスプローラ等か ら)ドラッグアンドドロップすることでもメディアの追加が可 能です。

複数の作成元メディアがハードディスクにある場合は、複数の メディアを一度に追加することができます。

「作成元メディアの場所」に、追加する MO/DVD-RAM ドライブを入力します。作成 元メディアがハードディスクにある場合は、その場所を指定します。

「サブフォルダを検索して、認識可能なメディアを全て追加」をチェックすると、指定 した場所以下の全てのサブフォルダを検索して、見つかった全てのメディアを追加しま す。

「OK」ボタンをクリックすると、見つかった作成元メディアの一覧を表示します。

>	メディアストックに追加				
	検出したメディア一覧:	※ 行をダブルクリー	ックするとディスクラベル/コメントを追加できます。		
	場所	メディア種別	コメント(編集可)		
	💌 D#	MV-60M,MV-150/180/180F,EJCP-S			
	✓メディアの追加後、自	動的に解像度変換開始 マ解	象度変換後、変換前のメディアを残さない		
		OK ##2	411		

「メディアの追加後、自動的に解像度変換開始」をチェックすると、作成元メディアの 追加が終了すると、作成メディア種別に合うように自動的に解像度の変換を開始します。 「解像度変換後、変換前のメディアを残さない」がチェックされている場合は、解像度 の変換終了時点で、変換前の(メディアストック内の)作成元メディアが削除されメディ アストックに残りません。 初期状態では、「メディアの終了後、自動的に解像度変換開始」 と「解像度変換後、変換前のメディアを残さない」は両方とも チェックされています。 作成元メディアー覧の一つをダブルクリックすると、そのメディアに記録されている検 査内容を確認したり、コメント/ディスクラベルを設定することができます。

コメント/ディスクラベル	×
コメント/ディスクラベル:	
メディアにコメント/ディスクラベルを入力することにより、ストックメディアの	管理が容易になります。
メディア情報 ダインプ情報 MV-150,180,180F / EXCP-S	GT Finderで開く(<u>G</u>) メディア情報(<u>S</u>)
先頭検査日時: 2005/11/02 14:29:54 検査数: 373 最終検査日時: 2006/01/24 15:01:44 ファイル数: 3,388	0K キャンセル

コメント/ディスクラベルは、MO ディスクや DVD-RAM ディスクのディスクラベル (ボリュームラベル)とは関係ありません。メディアストックでの管理を容易にするた めのコメントです。設定しなくても構いません。

「GT Finder で開く」ボタンをクリックすると、そのメディアを GT Finder で開いて (GT Finder がコンピュータにインストールされている必要があります)内容を確認す ることができます。

「メディア情報」ボタンをクリックすると、先頭検査日時、最終検査日時、検査数、ファ イル数を調べて表示します。作成元メディアの種類や記録検査数により表示するまでに 時間が掛かることがあります。

メディアスト	ックに追加		
SD P	メディアストックに追加しています		455/3939 完了
場所		状態	
2 D.¥		処理中	
			中止

作成元メディアの追加を開始すると進行状況を表示します。メディアの追加が完了する までお待ち下さい。 コメント/ディスクラベルを設定しない場合は、自動的に作成 元メディア追加開始日時をコメント/ディスクラベルとして 設定します。

メディア種別が"その他"の場合、一部 GT Finder が対応していない (開けない)メディアがあります。

作成メディア種別によりメディアに記録できる画像の解像度(横ピクセル数×縦ピクセル数)が異なるため、全てのストックメディアについて、作成メディア種別に合わせて 画像解像度を変換する必要があります。

ストックメディアの解像度を変換するには、「メディア」メニュー→「メディアストッ ク」→「解像度変換」を選択します。



メディアストック内で選択中のメディアのみを対象とするか、または全てのメディアを 対象とするかを選択します。一つもメディアが選択されていない場合は「全てのストッ クメディア」のみが有効です。

「解像度未変換のストックメディアのみ」をチェックすると、解像度未変換のストック メディアのみを対象とします。

「解像度変換後、元のストックメディアを残さない」がチェックされている場合は、解 像度の変換終了時点で、変換前の作成元メディアはメディアストックに残りません。 通常は、メディアストックに作成元メディアを追加すると、現 在選択している作成メディアに合わせて自動的に解像度変換 が行われます。 この場合は、解像度変換の操作を行う必要はありません。

「解像度未変換のストックメディアのみ」をチェックしない場 合、既に解像度変換済みのストックメディアの解像度変換を再 度行うことができます。

但し、解像度変換の繰り返しは画質の劣化を伴う為お薦めでき ません。

「解像度変換後、元のストックメディアを残さない」をチェックしない場合、解像度変換終了後、変換前と変換後の2つのストックメディアがメディアストックに残ります。

解像度変換中は、進行処理状況を表示します。

解像度変換進行状況を表示します。

2009/09/10 (木) 11:59:32 に追加したメディア	
0005 /00 /00 - 0005 /04 /04 /FER-33 0000 /00 /10 10 00 F0	
2009/09/22 ~ 2009/09/10 12005/2 49 MB (208 検査/ 1,553 7ァイル) 解像度を変換しています	-
2005/07/08 ~ 2006/09/27 【変換】 2009/09/09 15:15:50 1.19 GB (609 検査/ 9.639 ファイル〉 作成可:10 未作成:13 未変換:1 選択:0/13 解除度変換	₽

解像度変換中のストックメディアがあることを示します。

- 同時には1つのストックメディアのみの解像度変換を行います。
 変換中のストックメディア以外は "解像度変換待機"と表示されます。
- ・ 解像度変換開始時に選択されている作成メディア種別に合わせて解像度変換を行いま
 す。

解像度変換を開始してから作成メディア種別の設定を変更してもそれらのストックメ ディアには設定の変更は反映されません。"解像度変換待機"のストックメディアに ついても同様です。

解像度変換中にエラーが発生すると、ディスクラベル/コメント欄に◆を表示します。 そのメディアを選択して「メディア」メニュー→「メディアストック」→「エラーロ グを開く」を選択すると、エラーの詳細を確認することができます。 メディア」メニュー→「メディアストック」→「エラーをクリア」を選択するとエラー をクリアできます。 解像度変換中のストックメディアが1つでもあるとメディアの作成を開始することができません。全てのストックメディアの解像度変換が終了するまでお待ち下さい。

解像度変換中にエラーが発生した場合、解像度変換前のメディ アもメディアストックに残ります。 エラーにより変換できなかった画像は下の画像に置き換えら れます。



● 解像度変換中止

.

「メディア」メニュー→「メディアストック」→「解像度変換中止」→「選択メディア のみ」を選択すると、選択されている解像度変換中、または解像度変換待機状態のストッ クメディアについて、解像度変換を取り消します。 全てのストックメディアの解像度変換処理(待機含む)を取り消すには、「全ての解像

メニューを選択してから解像度変換処理が取り消されるまで、 暫く時間を要することがあります。

全てのストックメディアの解像度変換処理(待機含む)を取り消すには、「全ての解像 度変換中メディア」を選択してください。 ● ストックメディアからメディアを作成

解像度変換が終了したストックメディアからバックアップメディアと SD/DVD-RAM メディアを作成できます。

ストックメディアからバックアップメディア/DVD-RAM メディアを作成するには、 「メディア」メニュー→「メディアストック」→「バックアップメディア/DVD-RAM メディア作成」を選択します。

解像度変換中、または変換待機状態のストックメディアが1つでもあるとメディアを作 成することができません。全てのストックメディアの解像度変換が終了するまでお待ち 下さい。

選択されているストックメディアから作成します。

開始(S) キャンセル

全てのストックメディアから作成します。

・選択中のストックメディア

・全てのストックメディア

DVD-RAM メディアを作成

SD 2GE

単一もしくは損数のストックメディアから SD/DVD-RAM メディアを作成します。 SD/DVD-RAM メディアを作成する前に、自動的にパックアップメディアが作成されます。

バックアップメディアとSD/DVD-RAMメディアの作成を開始できます。 9.999 検査/187 GB 以下に収まるように、対象ストックメディアの一部を除外しま

✓バックアップメディア作成資みのストックメディアは作成対象から除外する
 「バックアップメディアのみを作成(SD/DVD-RAMメディアは後で作成できます)

-作成対象ストックメディア

⊙全てのストックメディア(13)

作成メディア情報 SD MV-10XS

作成対象ストックメティア数:

合計 1.4 GB (570 検査 ▲11,318 ファイル)

解像度変換が終了していないストックメディアから作成する ことはできません。

「ストックメディアからメディア作成」ボタンでも同様の操作 が可能です。



既にバックアップメディアを作成するために使用したストックメディアを除外します。

SD/DVD-RAM メディアを作成せずに、バックアップメディアのみを作成します。

後で、バックアップメディアから直接 SD/DVD-RAM メディアを作成できます。

DVD-RAM ディスクがない場合は SD/DVD-RAM メディアを作成できません。

SD/DVD-RAM ドライブが指定されていない、ドライブに初期化済みの SD メモリカード/

| "作成対象ストックメディア数"は対象ストックメディアのうち、実際にメディアを作成するために使用されるストックメディアを示します。



表示容量には、管理ファイル等画像ファイル以外に必要な容量は含まれません。ViewFile Media Converter は管理ファイル等を記録するために必要な容量も考慮して、メディア 作成のために必要なストックメディアを選択するため、「合計」として表示するストッ クメディアの合計サイズは作成メディアの容量よりも少なくなります。 対象ストックメディアから、先頭検査日時が古いものを優先し て選択します。

バックアップメディアを作成せずに SD/DVD-RAM メディ アのみを作成することはできません。 バックアップメディアが不要な場合は、SD/DVD-RAM メ ディア作成後に削除してください。

SD メモリカードの容量を指定できます。

最初にバックアップメディアを作成し、続いてSD/DVD-RAMメディアを作成します。

「バックアップメディアのみ作成」をチェックした場合は SD /DVD-RAM メディアを作成しません。



バックアップメディアの作成に先立って全ての検査を確認し、検査日時順に並べ替えま

す。

このとき、重複する複数の検査を検出するとその検査を除外します。

バックアップメディアの作成が完了すると、続いて SD/DVD-RAM メディアの作成を 開始します。

SD/DVD-RAM メディアの作成が完了すると以下のようにメッセージを表示します。 「閉じる」ボタンをクリックし、作成した SD メモリカード/DVD-RAM ディスクを取 出してください。 重複する検査とは、検査開始日時(年月日時分秒)が同じで、 且つ患者 ID が同じ検査のことです。

SD/DVD-RAM メディア作成中に「中止」ボタンをクリッ クして中断すると、その SD メモリカード/DVD-RAM ディ スクを初期化するまでこのディスクに再度メディアを作成す ることはできません。

バックアップメディア/DVD-RAMメディア作成				
SD/DVD-RAM メディアの作成が完了しました。				3
コメント/ディスクラベル	検査数	ファイル数	サイズ	
揉 2009/09/09 (水) 14:29:45 (ご追加したメディア (変換済み)	3	11	1.57 MB	
🛃 2009/09/09 (水) 1355:05 (ご倉加したメディア (変換済み)	276	5,980	549 MB	
🛃 2009/09/09 (水) 1431:19 (ご追加したメディア (支換済み)	108	861	159 MB	
揉 2009/09/09 (水) 14:20:30 (ご追加したメディア (変換済み)	183	4,466	712 MB	
/ショウアッラメティア 5D/DVD-RAMメティア				100 % 100 %
2009/09/10 140313 パックアップメディアの作時な精励にました。 2009/09/10 143238 パックアップメディアの作時が売了しました。 2009/09/10 14329 SD/ DUP FAM メディアの作時な特売しまし、 2009/09/10 152242 SD/ DVD-RAM メディアの作時な売売了しまし	t.			

正常にバックアップメディアの作成が終了した時点で、そのバックアップメディアを作成するために使用した全てのストックメディアの"メディア作成回数"を+1します。 正常にSD/DVD-RAMメディアの作成が終了した時点で、バックアップメディアの"メディア作成済"を+1します。 ● GT Finder で開く

「メディア」メニュー→「メディアストック」→「GT Finder で開く」を選択すると、 ストックメディアを GT Finder で開きます。 GT Finder は、ViewFile Media Converter が対応する全ての作成元メディア種別に対

応しているわけではありません。一部 GT Finder では開けないメディアがあります。

● フォルダを開く

「メディア」メニュー→「メディアストック」→「フォルダを開く」を選択すると、ス トックメディアが保存されているフォルダを開きます。

● ストックメディアのプロパティを表示する

「メディア」メニュー→「メディアストック」→「プロパティ」を選択すると、ストッ クメディアのプロパティを表示します。



ストックメディアが解像度変換中(待機含む)でなければ、コメント/ディスクラベル を変更することができます。

メディアバックアップ

● メディアバックアップペイン

ストックメディアから SD/DVD-RAM メディアを作成する際、全く同じ内容を自動的 にメディアバックアップに保存します。



● バックアップメディア

バックフ バックフ 作成する 設定しな	マップメディア作成時にニ マップメディアを削除せす S SD メモリカード/DV &い場合はバックアップメ	Jメント/ディスクラベルを設定 『に保存しておく場合、コメント D-RAM ディスクのディスクラ∕ くディアの作成日時がコメント/	することができます /ディスクラベルを ベル(ボリュームラ ディスクラベルにな	↑。 ₽設定することで識別が容易になります。 ベル)とは関係ありません。 なります。
	バックアップメ 最終検査の日付 ┃	ディアに記録されている先頭検 を表示します。	渣と	
				ハックアッフスティアを作成した日時を表示します。
2009/0	9/10 (木) 14:03:13 に 1999/01/13 ~ 2000/12,	作成したメディア /06 【作成】2009/09/10 14:20:28		バックアップメディアのサイズ、記録されている検査数、ファイ ル数を表示します。
SD MV-10XS	1.40 GB (570 検査/ 11 HD SD 作成)	,318 ファイル) 斉 (1)		 ファイル数、メディアサイズは画像ファイルの総数、合計ファイ ルサイズです。それ以外の管理ファイル等を含みません。
	HD (高解像度) 画像 画像が記録されている	が記録されているか、SD(NTS るかを示します。	9C)	、このバックアップメディアからSD/DVD-RAMメディアを作成 した回数を表示します。 作成回数がOの場合は黄色表示、1以上の場合は水色表示になり ます。
作成元>	メディアの種類をアイコン	で表示します。		
SD MV-10XH/D	MV-10XH/10XD	HD(高解像度)画像		
SD MV-10XS	MV-10XS	SD(NTSC)画像	* MV-10XH/	10XD でも再生できます。
MV-H/D10	MV-H10/D10	HD(高解像度)画像		

 WV-S10
 SD (NTSC) 画像
 ※ MV-H10/D10、EICP-D (B-Set) でも再生できます。

 ※ MV-H10/D10、EICP-D (B-Set) でも再生できます。

🖌 EICP-D(A-Set) HD(ハイビジョン)画像 🛛 ※ MV-H10 でも	も再生できます。
--	----------

EICP-D (B-Set) SD (NTSC) 画像 ※ MV-S10/H10/D10、EICP-D (A-Set) でも再生できます。

● バックアップメディアからメディアを作成

バックアップメディアから SD/DVD-RAM メディアを作成できます。

バックアップメディアから SD/DVD-RAM メディアを作成するには、バックアップメ ディアを1つ選択して「メディア」メニュー→「メディアバックアップ」→「メディア 作成」を選択します。

「バックアップメディアからメディア作成」ボタンでも同様の
操作が可能です。

前成元メディア教込み	👸 ዞライプチェック	■ ストッウメディアからメディアを作成	퉳 パックアップメティアからメティアを作成
			

「バックアップからメディア作成」ボタン

バックアップ	メディア/DVD-RAMメディア作成				X
SD D	SD/DVD-RAMメディアを作成しています			<u>ф</u>	
コメント/ディ	スクラベル	検査数	ファイル数	サイズ	
2009/09/	10 (木) 1631:04 に作成したメディア	1,301	12,189	1,577 MB	
	<i>a</i>				x
SD/DVD-RA	MXディア				9 N
2009/09/10 1	7:29:08 SD/DVD-RAM メディアの作成を開始しまし	t.			~
<				Σ	

SD/DVD-RAM メディアの作成が完了したら、SD メモリカード/DVD-RAM ディス クを取出して下さい。 正常に SD/DVD-RAM メディアの作成が終了した時点で、バックアップメディアの"メ ディア作成済"を+1 します。

● バックアップメディアの削除

不要になったバックアップメディアは削除することができます。そのままメディアバッ クアップに残しておくこともできます。

バックアップメディアを削除するには、削除するバックアップメディアを選択して「メ ディア」メニュー→「メディアバックアップ」→「バックアップメディア削除」を選択 します。

SD/DVD-RAM メディア作成中に「中止」ボタンをクリッ
クして中断すると、その SD メモリカード/DVD-RAM ディ
スクを初期化するまでこのディスクに再度メディアを作成す
ることはできません。

「SD/DVD-RAMメディア未作成のメディアを削除しない」 がチェックされている場合は、SD/DVD-RAM メディアの 作成回数が 0 であれば、選択されているバックアップメディ アであっても削除しません。

バックアップメディア削除
選択されている 1 バックアップメディアを削除します。
✓SD/DVD-RAM メディア未作成のメディアを削除しない。
OK キャンセル

● GT Finder で開く

「メディア」メニュー→「メディアバックアップ」→「GT Finder で開く」を選択する と、バックアップメディアを GT Finder で開きます。

● フォルダを開く

「メディア」メニュー→「メディアバックアップ」→「フォルダを開く」を選択すると、 フォーカスを持つバックアップメディアの保存場所を開きます。

● バックアップメディアのプロパティを表示する

「メディア」メニュー→「メディアバックアップ」→「プロパティ」を選択すると、フォー カスを持つバックアップメディアのプロパティを表示します。



バックアップメディアを残して管理する場合は、識別し易いようにコメント/ディスク ラベルを変更すると便利です。

メニュー

メインウィンドウタイトルバーの下にメニューを表示します。

- 「ファイル」メニュー
 - ◇「終了」

ViewFile Media Converter を終了します。

■ 「メディア」メニュー

「メディア」メニューには、作成メディア、メディアストック、メディアバックアップ それぞれに対して行う操作を表示します。

- ●「作成メディア」
 - ◇「作成メディア種別/使用機種」

作成する SD/DVD-RAM メディアの使用機種を選択します。(18ページ)

◇「メディア作成場所」

SD/DVD-RAM メディアを作成する SD/DVD-RAM ドライブを指定します。 (☞ 19 ページ)

◇「詳細」

作成メディアに記録する解像度を固定したり、作成元メディアの動画ファイルから 静止画を抽出する位置を指定します。 (☞ 19 ページ)

◇「ドライブチェック」

SD/DVD-RAM ドライブに初期化済みの SD メモリカード/DVD-RAM ディス クがあるかどうかを確認します。 (☞ 21 ページ)

◇「GT Finder で開く」

SD/DVD-RAM ドライブに、有効な検査情報が記録されているメディアがあれば GT Finder を起動してそのメディアを開きます。

- ●「メディアストック」
 - ◇「作成元メディア取込み」

メディアストックに作成元メディアを追加します。 (☞ 23 ページ)

◇「作成回数をクリア」

選択されているストックメディアの"メディア作成回数"をクリアして"未作成" ^{解像度変換回数をクリアすることはできません。} にします。

◇「ストックメディア削除」

選択されているストックメディアを削除します。

◇「解像度変換」

作成メディア種別(使用機種)に合わせて、ストックメディアに記録されている画像の解像度を変換します。(3 25ページ) 解像度変換が終了した時点で、そのストックメディアから作成可能なメディア種別が決まります。 初期設定では、メディアストックに作成元メディアを追加する と自動的に解像度変換を開始するため、通常は明示的に操作を 行う必要はありません。

◇「このメディアのみ解像度変換」

選択されているストックメディアのみを解像度変換します。他のストックメディア が解像度変換中であってもこの操作を行うことができます。

◇「解像度変換中止」

実行中の解像度変換処理を中断、または、解像度変換待機状態をキャンセルします。

◇「エラーログを開く」

解像度変換中に画像変換エラーが発生すると、ストックメディアに ◆ アイコンを表示し、エラーの内容を確認できます。 (☞ 26 ページ)



◇「エラーをクリア」

解像度変換エラーログをクリアして、サアイコンを削除します。

◇「GT Finder で開く」

ストックメディアを GT Finder で開きます。

GT Finder がインストールされていない場合はプロパティを表示します。

◇「フォルダを開く」

ストックメディアが記録されているフォルダを表示します。

◇「全て選択」

全てのストックメディアを選択します。

◇「プロパティ」

ストックメディアのプロパティを表示します。 (☞ 29ページ)

- ●「メディアバックアップ」
 - ◇「メディア作成」

バックアップメディアから SD/DVD-RAM メディアを作成します。 (☞ 32 ページ)

- . -- -,
- ◇「作成回数クリア」

選択されているバックアップメディアの"メディア作成済回数"をクリアして"未 作成"にします。

◇「バックアップメディア削除」

選択されているバックアップメディアを削除します。

◇「GT Finder で開く」

バックアップメディアを GT Finder で開きます。

GT Finder がインストールされていない場合はプロパティを表示します。

◇「フォルダを開く」

バックアップメディアが記録されているフォルダを表示します。

◇「全て選択」

全てのバックアップメディアを選択します。

◇「プロパティ」

バックアップメディアのプロパティを表示します。 (☞ 33 ページ)

■ 「表示」メニュー

「表示」メニューでは、メインウィンドウにおける表示方法の変更や、ログファイルを 開くことができます。

◇「フォント」

表示文字のフォントサイズを指定します。

- ・標準標準サイズのフォントにします。
- ・大 大きなサイズのフォントにします。
- ・特大 特大サイズのフォントにします。

フォントサイズは、システムで設定されている標準フォントのサイズを基準にしてい ます。

◇「日付」

日付を表示するときの形式を指定します。

- ・YYYY/MM/DD 西暦4桁年、"/"区切りの形式で日付を表示します。
- YY/MM/DD 西暦2桁年、"/"区切りの形式で日付を表示します。
- ・GYY.MM.DD 元号2桁年、"."区切りの形式で日付を表示します。
- ◇「ログ」
 - 本日分のログファイルを開く
 本日分のログファイルの内容を表示します。
 - 本日分のエンジニアリングログファイルを開く
 本日分のエンジニアリングログファイルの内容を表示します。
 - ・ログファイル保存フォルダを開く
 - ・エンジニアリングログファイル保存フォルダを開く
 ログファイルまたはエンジニアリングログファイルが保存されるフォルダを開きます。

◇「ツールバー」

ツールバーの表示/非表示を切替えます。

◇「ステータスバー」

ステータスバーの表示/非表示を切替えます。

ダイアログで使用されるフォントのサイズはシステムで設定 されているフォントサイズに従います。ViewFile Media Converter では変更できません。

ViewFile Media Converter の動作中に問題が発生したとき に、ログファイルやエンジニアリングログファイルが問題解決 のために役立ちます。

初期設定では、ログファイル、エンジニアリングログファイル は同じフォルダに保存されます。

```
■ 「設定」メニュー
```

「設定」メニューでは、ViewFile Media Converter の各種動作に関する設定が行えます。

◇「フォルダ」

メディアストックとメディアバックアップの場所を変更します。



メディアストック/メディアバックアップの場所を変更して も、既に記録されているストックメディアやバックアップメ ディアは移動しません。 これらを新たなメディアストック/メディアバックアップに 移動するには、元のメディアストック/メディアバックアップ 内の全てのフォルダを手作業で移動してください。

◇「オプション」

ストックメディア/バックアップメディアをダブルクリックしたときの動作と患者ID

の変換規則を設定します。

オプション	X
リストダブルグリック時の動作 メディアストック: GT Finder で間K ♥ メディアパックアップ: GT Finder で間K ♥ メディアパックアップ: メディアストック性たく(メディ・アバックアンのメディアをダブ ルクシックしたどの前すた着広生ます。	 患者10支換 患者100(小鼓指定: 患者100(小鼓指定: ご 患者10(小达(場合は、"3"で始まる検査日時を患者10として自動的に言り当てます。
コンピュータに GT Finder がインストールされていない 場合はプロパティを表示します。	OK キャンセル

◇「高度な設定」

本バージョンでは設定可能な項目はありません。

◇「ログ」

ログファイル、エンジニアリングログファイルを作成するかどうかを設定します。

ログ設定	
⑦ 見がを作ま成(YYYYYMMDD-VFMEDONV loe) フォルダ Cx4Documents and Settings¥All Users¥Applis (この (条存期間 1ヶ月間)) ⑦ Tンジーアリンガログネ作品気(YYYYMMDD-VFMFDONV Floe)	>
フォルダ C*Pocuments and Settings VAII Users VApple (保存期間 1ヶ月間 エンジニアリングログオブション	~
 」メモリ ビファイル操作 □ファイル検索 ジスレッド ビレジストリ マその他 OK キャンセリ 	

■ 「ヘルプ」メニュー

「ヘルプ」メニューでは、オンラインヘルプを表示したり、ViewFile Media Converter のバージョンを確認することができます。

◇「トピックの検索」

本バージョンではオンラインヘルプを表示できません。

◇「取扱説明書」

ViewFile Media Converter の取扱説明書ファイル(本書)を開きます。 ViewFile Media Converter の取扱説明書がインストールされていない場合はメ ニューが無効となり、選択することができません。 ViewFile Media Converter の取扱説明書を開くには、PDF ファイルを開くアプリケーション(Adobe Reader 等)がコ ンピュータにインストールされている必要があります。

◇「ViewFile Media Converter アップデート WEB サイト」

インターネットブラウザで GT Finder / ViewFile Media Converter のアップデート ページに移動します。 最新バージョンのソフトウェアをダウンロードすることができます。

◇「バージョン情報」

ViewFile Media Converter のバージョン情報と、ライセンスコードを表示します。



ViewFile Media Converter には動作に関するいくつかの設定項目があります。 殆どの場合は設定を変更する必要はありません。

オプション

ストックメディア/バックアップメディアをダブルクリックしたときの動作と、患者 ID の 変換方法を指定できます。

オプションを設定するには、「設定」メニュー→「オプション」を選択します。



作成元メディアによっては、患者 ID が無い検査があります。 ViewFile Media Converter が作成する SD/DVD-RAM メ ディアでは、患者 ID が無い検査を作成することができないた め、自動的に患者 ID を生成します。

◇ リストダブルクリック時の動作

メディアストック/メディアバックアップそれぞれに対して、メディアダブルクリック 時の動作を「GT Finder で開く」と「プロパティを表示」から選択できます。

◇ 患者 ID の桁数指定

全ての患者 ID の先頭に "O"を必要数追加して桁数を揃えます。既に患者 ID が指定桁 数以上である場合は変更を加えません。従って既存の患者 ID よりも桁数が減少すること はありません。

患者 ID の桁揃えは、解像度変換時に行われます。

◇ 患者 ID の先頭から続く"O"を削除

患者 ID が"O"から始まる場合に、"O"以外の文字/数字が現れるまで"O"を取り除 きます。但し、患者 ID が全て"O"で構成されている場合は一文字だけの"O"になり ます。 高度な設定ダイアログを表示するには、「設定」メニュー→「高度な設定」を選択します。 本バージョンでは設定を変更することはできません。

高度な設定	×
✔解像度変換時、常に画像を再圧縮	OK キャンセル
通常は設定を変更しないでください。 作成したメディアを本機で正しく再生できなくなる可能性があります。	初期設定(<u>D</u>)

ログファイル設定

ログファイルを作成するかどうかを指定します。

ログファイルの設定をするには、「設定」メニュー→「ログ」を選択します。

ログ設定				
 アラルダ Cv4Documents and Settings¥All Users¥Appla (Arphane 17-月間) 				
マエンジニアリングログを作転な(YYYYMMDD-VFMEDCNV_Eloge) フォルダ C×Documents and Settings¥All Users¥Appli (二) (採存期間 1ヶ月間 ▼				
□ メモリ ビファイル操作 □ ファイル検索 ビスレッド ビレジストリ ビその絶				
OK				

ViewFile Media Converter の動作中に何らかの不具合が発生したときに、問題解決のためにログファイルが役に立ちます。エンジニアリングログは、ログファイルよりもさらに詳細な実行状況をログとして残します。

ログファイル/エンジニアリングログを参照するには、メインウィンドウの「表示」メ ニュー→「ログ」→「ログファイルを開く」/「エンジニアリングログファイルを開く」 を選択します。

ティアック株式会社 情報機器事業部 BS ビジネスユニット

製品に関するお問い合わせは・・・	営業2部 MV 営業課	〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47		
		TEL 042-356-9160	FAX 042-356-9185	
技術的なお問い合わせは・・・	営業2部 MV 営業課	TEL 042-356-9160	FAX 042-356-9185	
	受付時間 9:30~12:00/13:00~17:00(土・日・祝日を除く)			

ティアック MV ホームページ(お問い合わせフォームあり) http://www.teac.co.jp/industry/mv/index.html